

## 5147 <sup>くらく</sup>久楽の世界の旅：イタリア南部・道草の連続 ②

下記のような光景に出会うと、見過ごし、通り過ぎることが出来ない。  
好奇心と、知識欲の追求だが、いつも、これが最後。できる時に、出来ることを実践。

スペシャリスト、と云うより、ジェネラリスト、雑学の俗人。

旅も人生も、一過性、記憶の風化もある。齢を経て、時々思い浮かべる、  
一番印象の強いのは何なのか。人生まだまだ。早いけどそんな思いもあってフットワークよく、  
可能なら、やりたい目標もある。そんな訳で、マメに画像記録している次第。



たかが、草花や花一輪でも、印象に残れば、画像記録。  
人生多事多難、いろいろありすぎて、新しい夢挑戦、フィフティまでの画像記録が少ない。  
生活や仕事でも、多様な実体験。それが、今、生きてきているように思う。  
その分野では、人知れず、目立たず、頑張った。  
久楽流の画像記録は、反発した親父殿の真似かもしれないと、今は感謝。  
ゴミとして捨てられるも、また良し。今に、全力投球するのみ。

